

2010年2月の医療機器の生産・輸入金額 (薬事工業生産動態統計調査月報平成22年2月分速報値より)

医療機器産業研究所主任研究員 中野壮陸

本資料は、厚生労働省の薬事工業生産動態統計調査月報—平成22年2月分速報が平成22年5月27日に公表されたことに伴い、大分類別に集計・分析したものである。

【データ範囲】

2009年2月から2010年2月の間：月報速報データ

2007年2月から2009年1月の間：月報データ

※薬事工業生産動態統計調査月報の速報値と確定値の間には5%程度の乖離があることが過去のデータから確認されており、本ファクトシートもそれらの影響を受けている可能性が否定できないことを予めご了承ください。

1. 医療機器全体の金額、輸入金額の推移

医療機器全体における2010年2月の生産金額と輸入金額の合計金額は3,463億円で、前月比16.9%増、対前年同月比37.6%増であった。

生産金額は1,368億円で、前月比1.1%増、対前年同月比30.4%増であった。

輸入金額は2,095億円で、前月比30.1%増、対前年同月比42.7%増であった(図1)。

全体的傾向としては、2009年2月以降輸入急増の影響を大きく受けたことで、中期的には見れば増加傾向にあるが、短期的には増加率が鈍化傾向にある(図20～図22)。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産39.5%、輸入60.5%と輸入が生産を上回っている。前月の生産45.6%、輸入54.4%に比べ生産割合が6.1ポイント減少し、前年同月の生産41.7%、輸入58.3%と比較すると生産割合が2.2ポイント減少している(図2)。

2009年2月以前は輸入割合が生産割合を上回ることが無かったが、過去1年間では輸入割合が生産割合を上回る月が9ヶ月存在し、2010年2月は、2009年5月に次いで2番目に輸入割合が高い月となった。

大分類別の合計金額では、医用検体検査機器が660億円(構成比19.1%)で最も多く、次いで治療用又は手術用機器が641億円(同比18.5%)、生体機能補助・代行機器が511億円(同比14.8%)の順であった(図3)。上位3大分類による累積の合計金額は1,812億円(同比52.4%)である。

大分類別の生産金額では、処置用機器が261億円(構成比19.1%)で最も多く、次いで生体現象計測・監視システムが248億円(同比18.1%)、生体機能補助・代行機器が147億円(同比10.8%)の順であった(図4)。上位3大分類による累積の合計金額は656億円(同比48.0%)である。

大分類別の輸入金額では、治療用又は手術用機器が599億円(構成比28.6%)で最も多く、次いで、医用検体検査機器が563億円(同比26.9%)、生体機能補助・代行機器が364億円(同比17.4%)の順であった(図5)。上位3大分類による累積の合計金額は1,526億円(同比72.9%)である。

財団法人医療機器センター附属医療機器産業研究所
MDS I ファクトシート No. 2 (2010年5月)

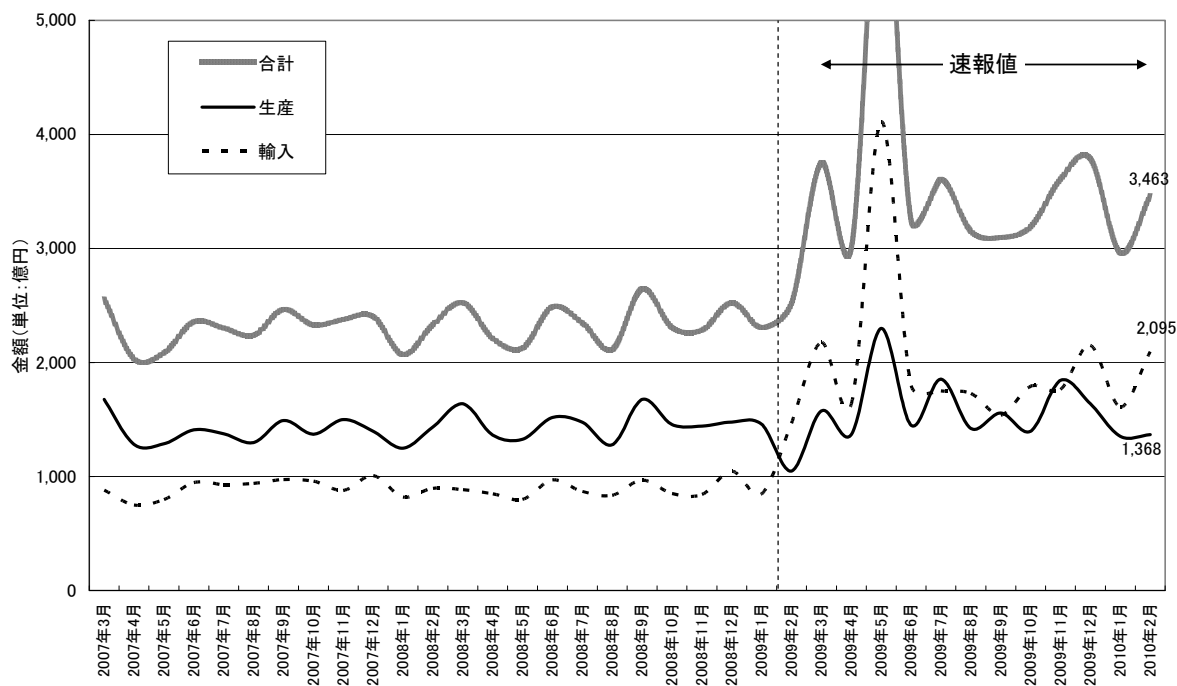


図1 医療機器全体の生産金額、輸入金額

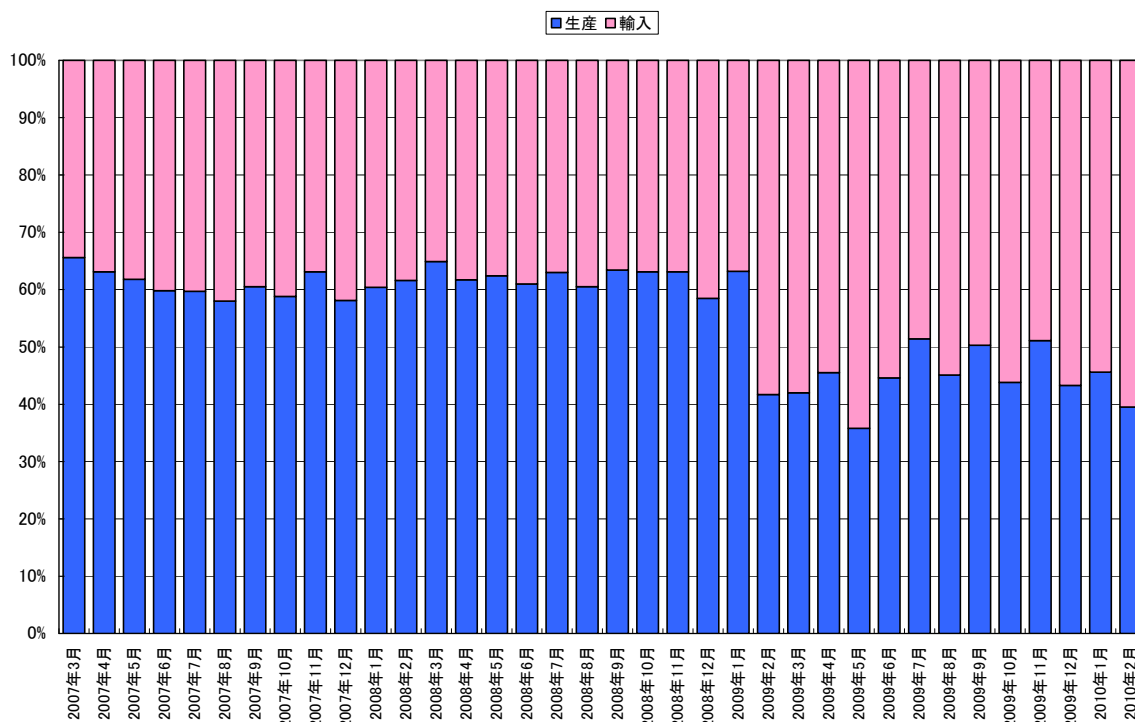


図2 生産金額と輸入金額の構成比

財団法人医療機器センター附属医療機器産業研究所
MDS I ファクトシート No. 2 (2010年5月)

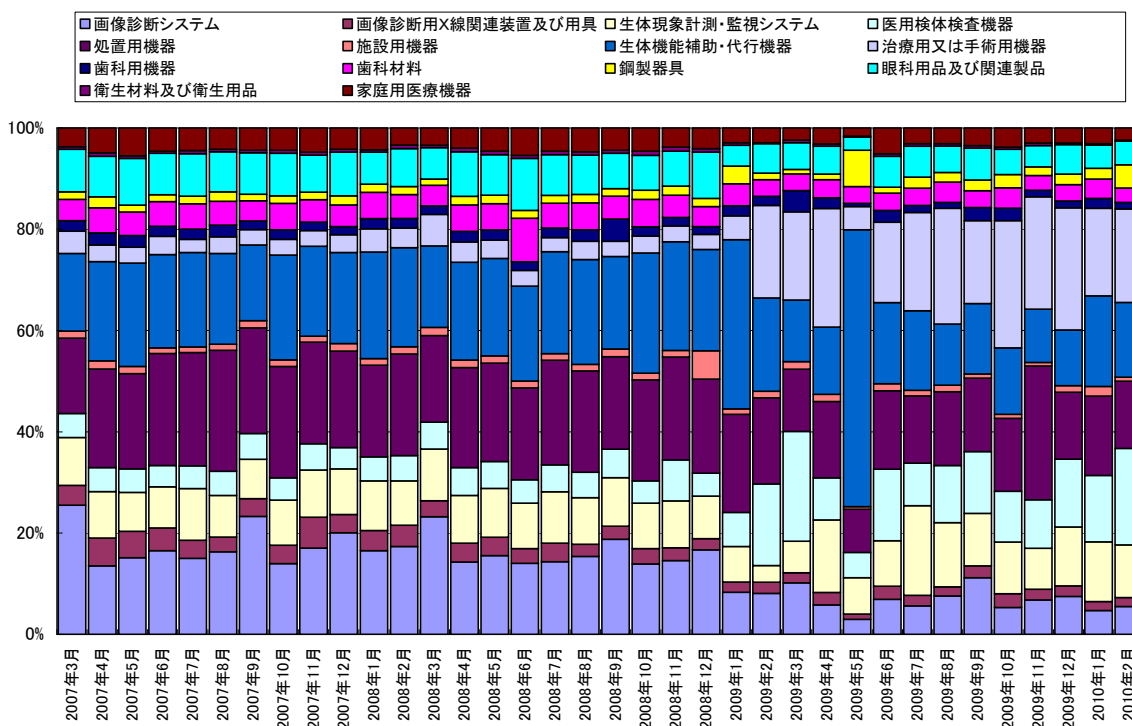


図3 合計（生産＋輸入）金額の大分類別構成比

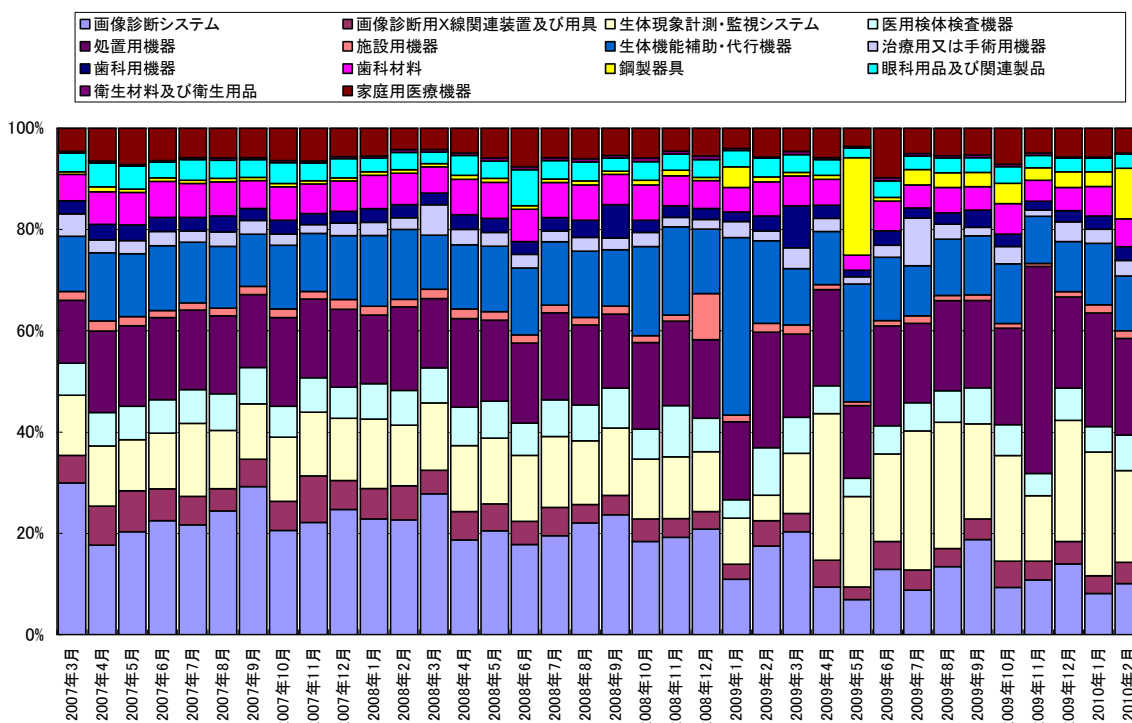


図4 生産金額の大分類別構成比

財団法人医療機器センター附属医療機器産業研究所
MDS I ファクトシート No. 2 (2010年5月)

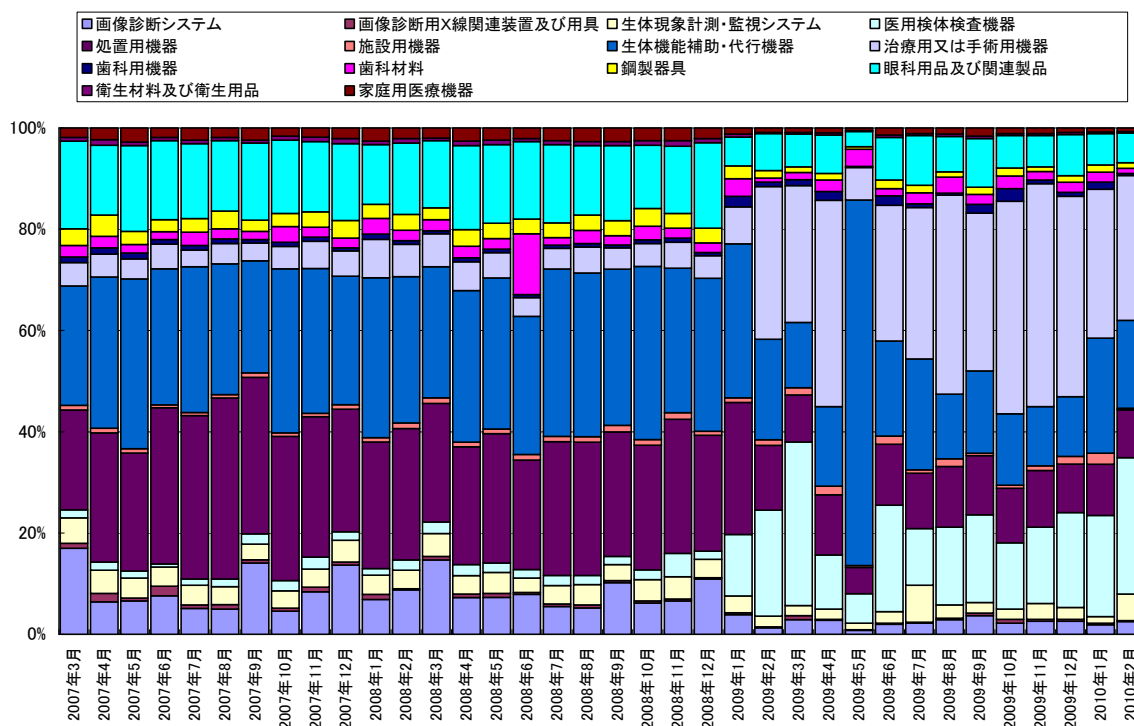


図5 輸入金額の大分類別構成比

2. 画像診断システムの金額、輸入金額の推移

画像診断システムにおける2010年2月の生産金額と輸入金額の合計金額は190億円で、前月比34.9%増、対前年同月比7.0%減であった。

生産金額は138億円で、前月比24.8%増、対前年同月比25.3%減であった。

輸入金額は52億円で、前月比71.5%増、対前年同月比164.1%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産72.6%、輸入27.4%である。前月の生産78.4%、輸入21.6%に比べ生産割合が5.8ポイント減少し、前年同月の生産90.3%、輸入9.7%と比較すると生産割合が17.7ポイント減少している。

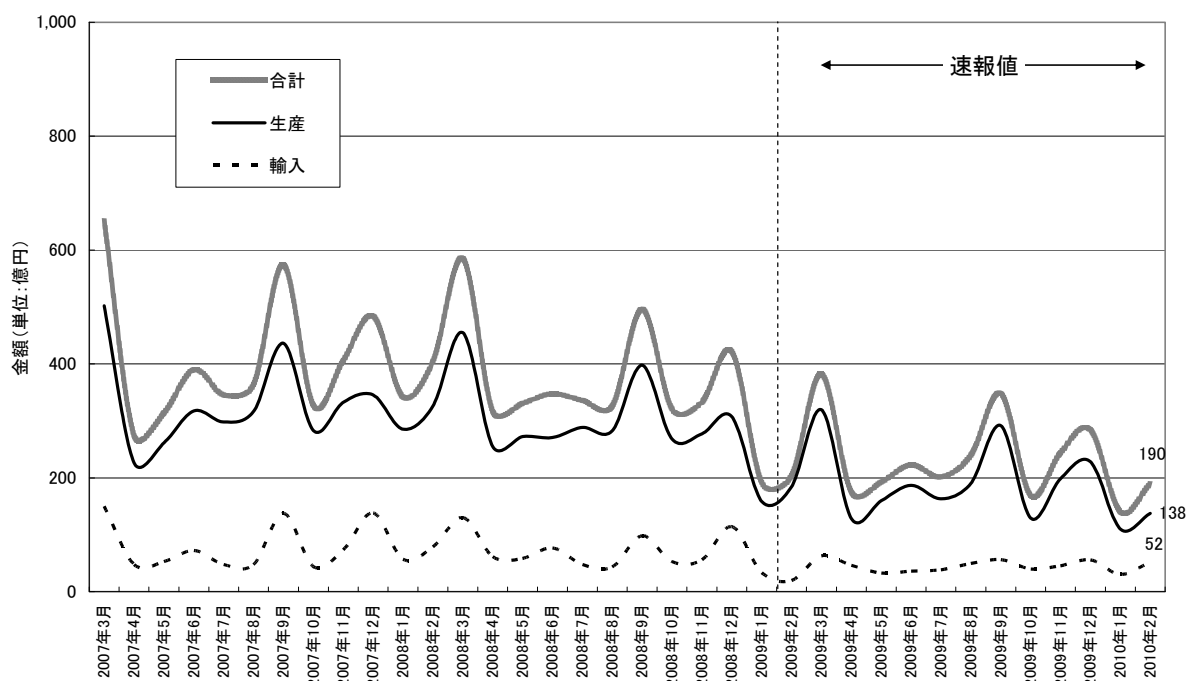


図6 画像診断システムの生産金額、輸入金額

3. 画像診断用X線関連装置及び用具

画像診断用X線関連装置及び用具における2010年2月の生産金額と輸入金額の合計金額は62億円で、前月比18.6%増、対前年同月比10.4%増であった。

生産金額は58億円で、前月比21.1%増、対前年同月比9.6%増であった。

輸入金額は4億円で、前月比8.4%減、対前年同月比23.9%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産93.4%、輸入6.6%である。前月の生産91.5%、輸入8.5%に比べ生産割合が1.9ポイント増加し、前年同月の生産94.1%、輸入5.9%と比較すると生産割合が0.7ポイント減少している。

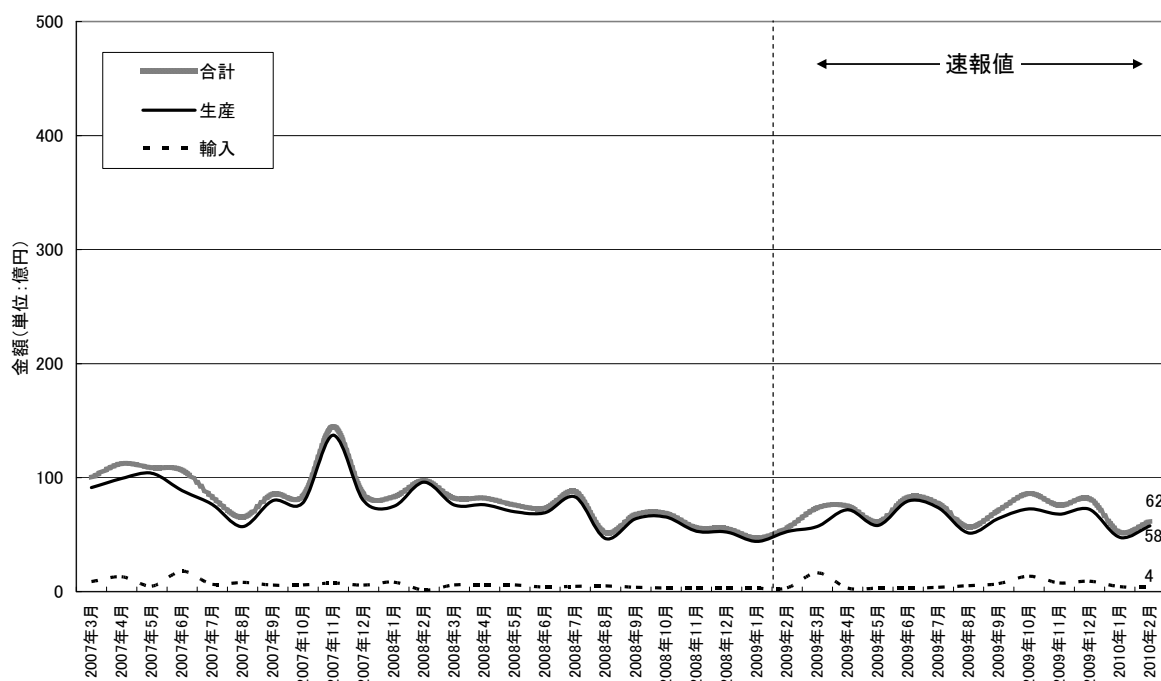


図7 画像診断用X線関連装置及び用具の生産金額、輸入金額

4. 生体現象計測・監視システム

生体現象計測・監視システムにおける2010年2月の生産金額と輸入金額の合計金額は359億円で、前月比2.5%増、対前年同月比333.9%増であった。

生産金額は248億円で、前月比24.9%減、対前年同月比369.8%増であった。

輸入金額は112億円で、前月比440.3%増、対前年同月比271.0%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産68.9%、輸入31.1%である。前月の生産94.1%、輸入5.9%に比べ生産割合が25.2ポイント減少し、前年同月の生産63.7%、輸入36.3%と比較すると生産割合が5.2ポイント増加している。

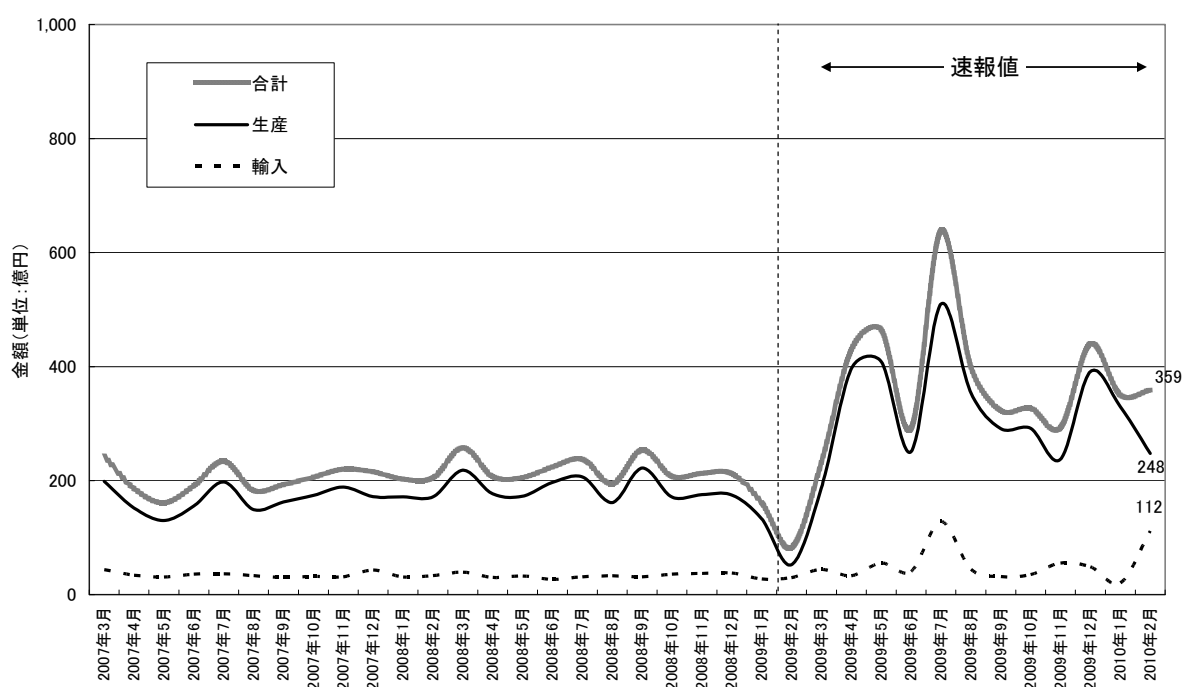


図8 生体現象計測・監視システムの生産金額、輸入金額

5. 医用検体検査機器

医用検体検査機器における2010年2月の生産金額と輸入金額の合計金額は660億円で、前月比69.3%増、対前年同月比62.7%増であった。

生産金額は96億円で、前月比42.2%増、対前年同月比2.3%減であった。

輸入金額は563億円で、前月比75.1%増、対前年同月比83.6%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産14.6%、輸入85.4%である。前月の生産17.4%、輸入82.6%に比べ生産割合が2.8ポイント減少し、前年同月の生産24.3%、輸入75.7%と比較すると生産割合が9.7ポイント減少している。

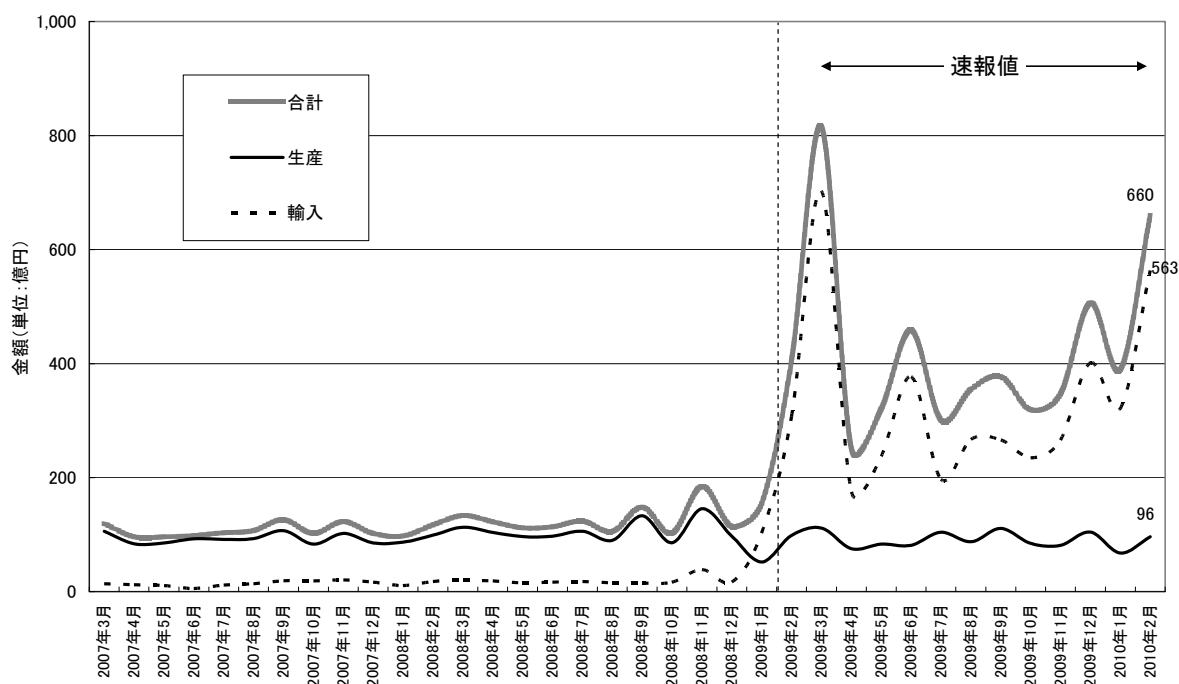


図9 医用検体検査機器の生産金額、輸入金額

6. 処置用機器

処置用機器における2010年2月の生産金額と輸入金額の合計金額は460億円で、前月比1.2%減、対前年同月比7.7%増であった。

生産金額は261億円で、前月比14.0%減、対前年同月比9.3%増であった。

輸入金額は199億円で、前月比22.6%増、対前年同月比5.6%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産56.8%、輸入43.2%である。前月の生産65.2%、輸入34.8%に比べ生産割合が8.4ポイント減少し、前年同月の生産55.9%、輸入44.1%と比較すると生産割合が0.9ポイント増加している。

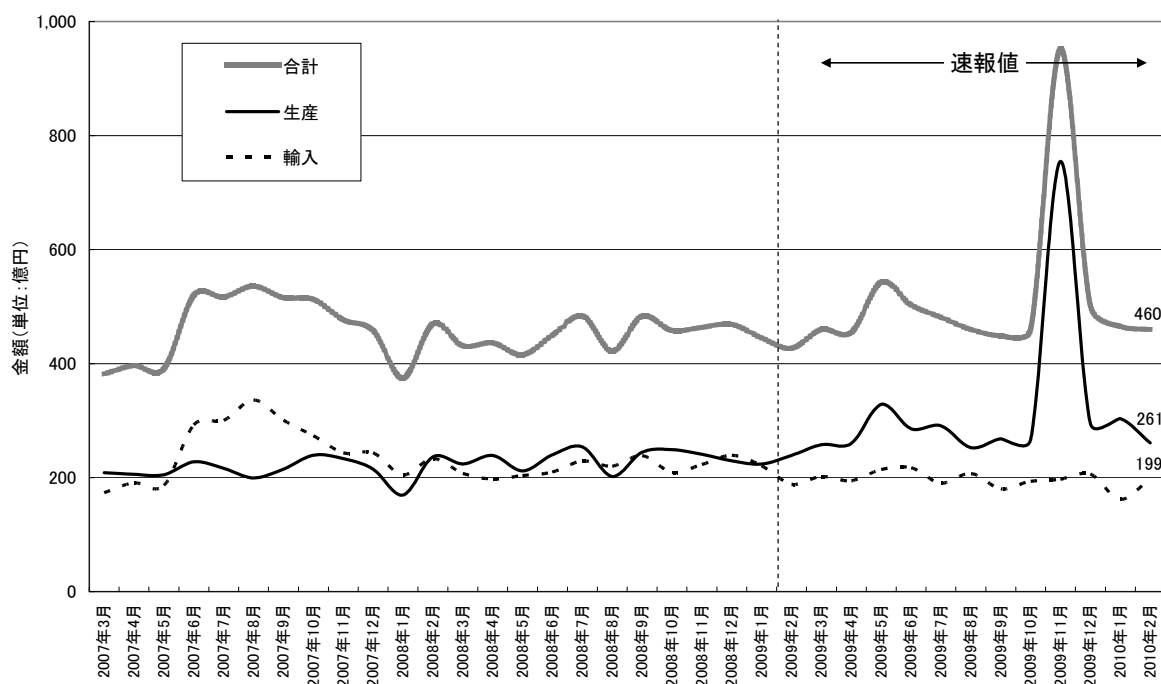


図 10 処置用機器の生産金額、輸入金額

7. 施設用機器

施設用機器における2010年2月の生産金額と輸入金額の合計金額は27億円で、前月比52.1%減、対前年同月比19.3%減であった。

生産金額は21億円で、前月比0.9%増、対前年同月比18.6%増であった。

輸入金額は6億円で、前月比83.0%減、対前年同月比61.6%減であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産77.5%、輸入22.5%である。前月の生産36.7%、輸入63.3%に比べ生産割合が40.8ポイント増加し、前年同月の生産52.7%、輸入47.3%と比較すると生産割合が24.8ポイント増加している。

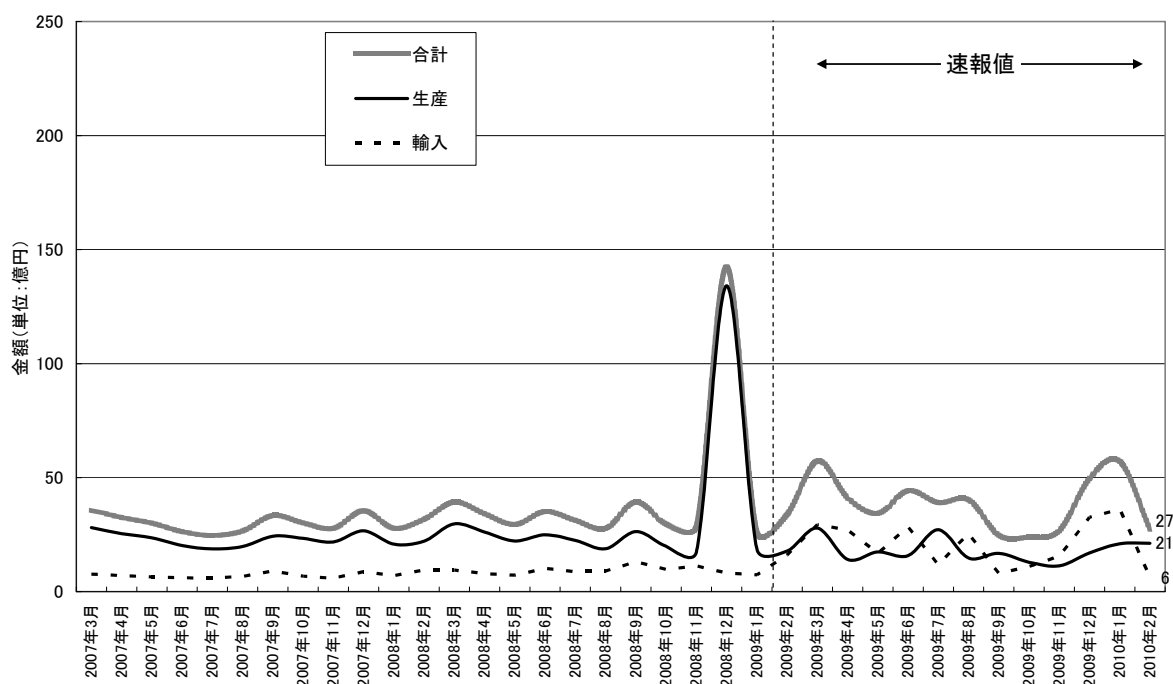


図 11 施設用機器の生産金額、輸入金額

8. 生体機能補助・代行機器

生体機能補助・代行機器における2010年2月の生産金額と輸入金額の合計金額は511億円で、前月比3.4%減、対前年同月比10.5%増であった。

生産金額は147億円で、前月比10.1%減、対前年同月比13.7%減であった。

輸入金額は364億円で、前月比0.4%減、対前年同月比24.7%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産28.8%、輸入71.2%である。前月の生産31.0%、輸入69.0%に比べ生産割合が2.2ポイント減少し、前年同月の生産36.9%、輸入63.1%と比較すると生産割合が8.1ポイント減少している。

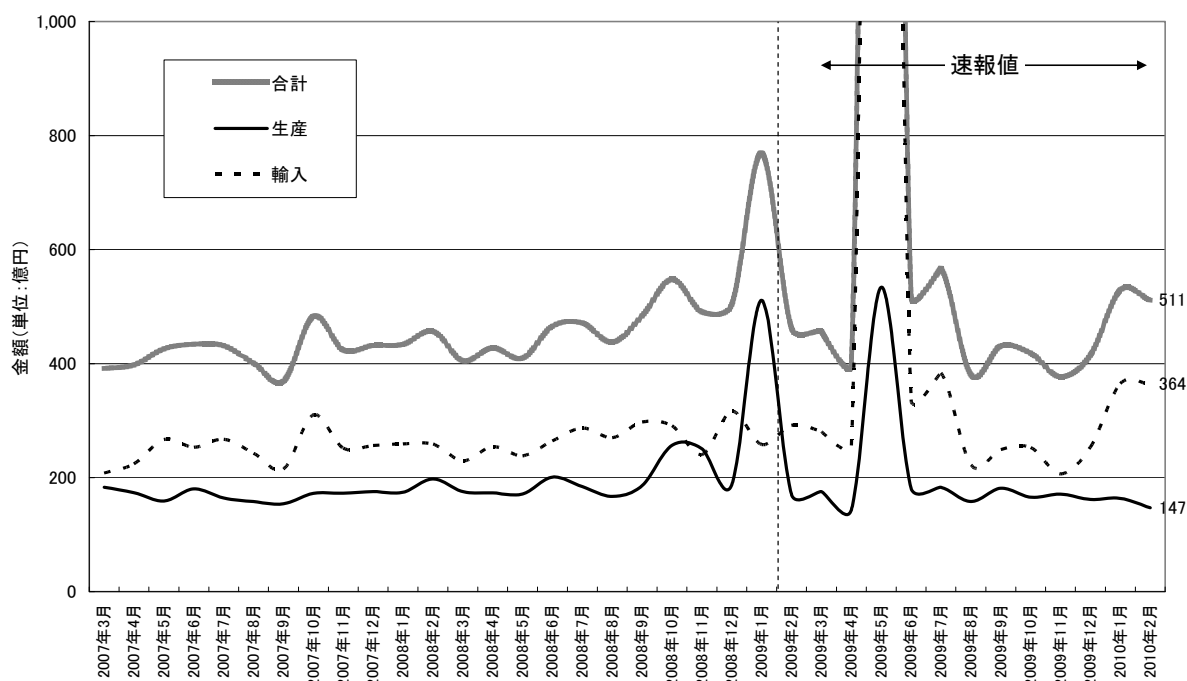


図 12 生体機能補助・代行機器の生産金額、輸入金額

9. 治療用又は手術用機器

治療用又は手術用機器における2010年2月の生産金額と輸入金額の合計金額は641億円で、前月比25.0%増、対前年同月比38.9%増であった。

生産金額は42億円で、前月比9.8%増、対前年同月比113.6%増であった。

輸入金額は599億円で、前月比26.2%増、対前年同月比35.6%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産6.6%、輸入93.4%である。前月の生産7.5%、輸入92.5%に比べ生産割合が0.9ポイント減少し、前年同月の生産4.3%、輸入95.7%と比較すると生産割合が2.3ポイント増加している。

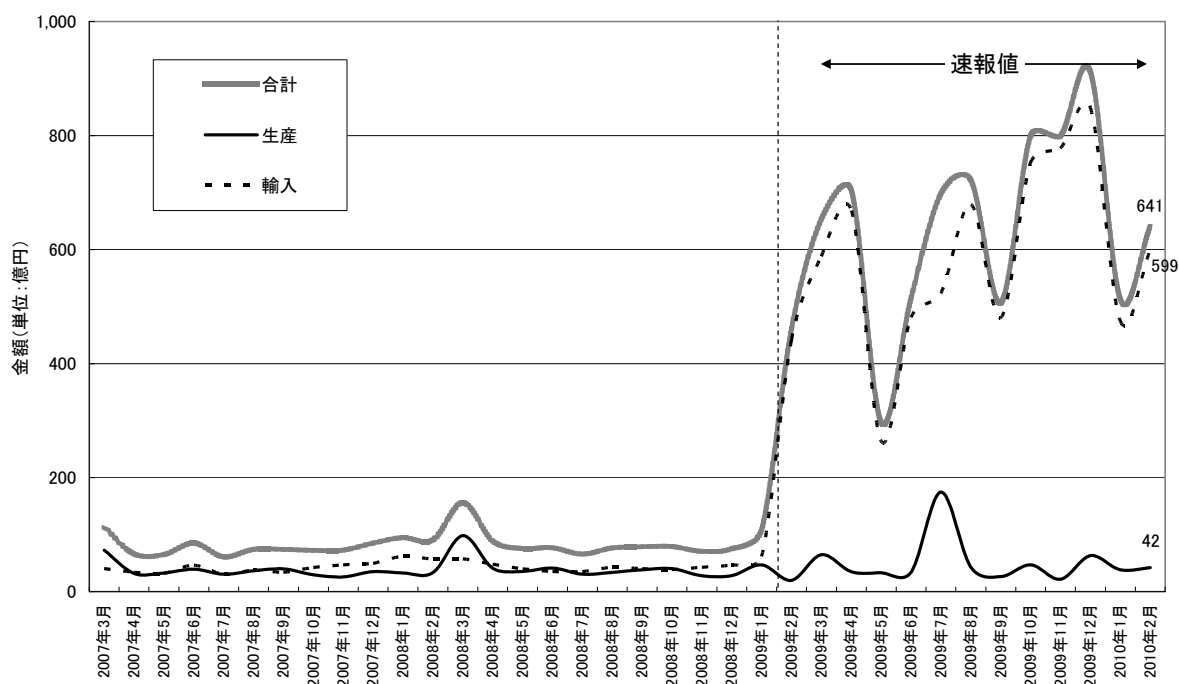


図13 治療用又は手術用機器の生産金額、輸入金額

10. 歯科用機器

歯科用機器における2010年2月の生産金額と輸入金額の合計金額は46億円で、前月比21.6%減、対前年同月比4.3%増であった。

生産金額は37億円で、前月比3.4%増、対前年同月比17.9%増であった。

輸入金額は9億円で、前月比60.1%減、対前年同月比28.6%減であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産80.0%、輸入20.0%である。前月の生産60.6%、輸入39.4%に比べ生産割合が19.4ポイント増加し、前年同月の生産70.7%、輸入29.3%と比較すると生産割合が9.3ポイント増加している。

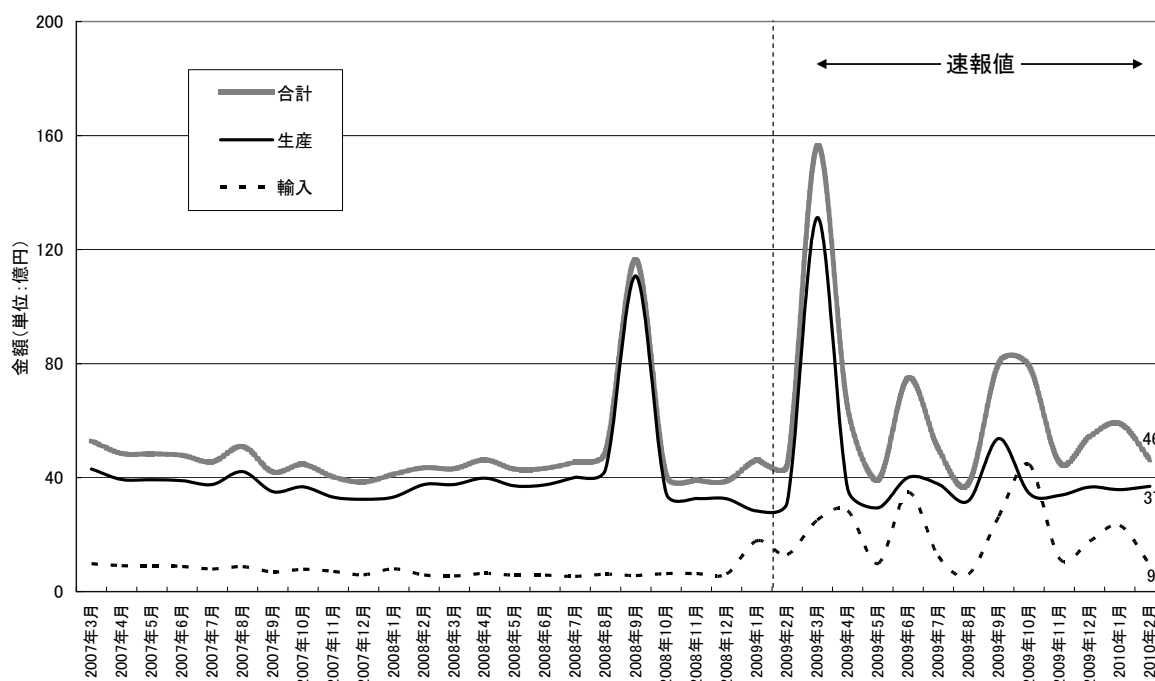


図 14 歯科用機器の生産金額、輸入金額

11. 歯科材料

歯科材料における2010年2月の生産金額と輸入金額の合計金額は96億円で、前月比13.6%減、対前年同月比15.8%増であった。

生産金額は75億円で、前月比4.4%減、対前年同月比6.1%増であった。

輸入金額は21億円で、前月比35.6%減、対前年同月比71.9%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産78.1%、輸入21.9%である。前月の生産70.6%、輸入29.4%に比べ生産割合が7.5ポイント増加し、前年同月の生産85.2%、輸入14.8%と比較すると生産割合が7.1ポイント減少している。

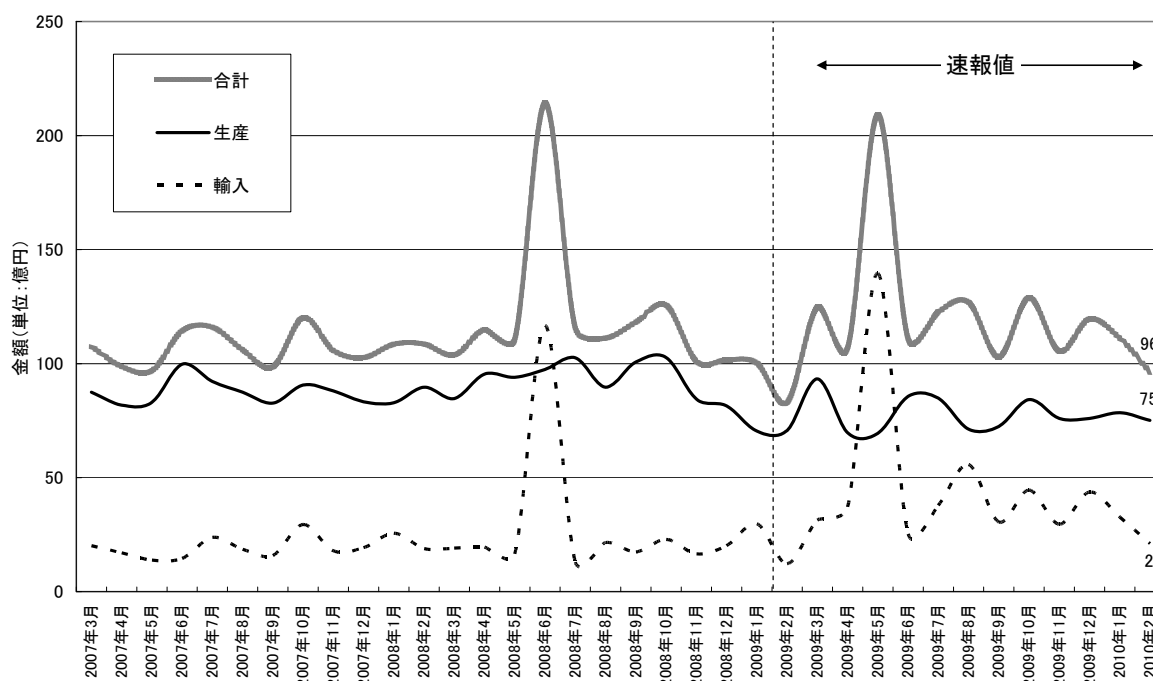


図15 歯科材料の生産金額、輸入金額

12. 鋼製器具

鋼製器具における2010年2月の生産金額と輸入金額の合計金額は160億円で、前月比160.1%増、対前年同月比390.8%増であった。

生産金額は136億円で、前月比241.7%増、対前年同月比1221.2%増であった。

輸入金額は24億円で、前月比10.7%増、対前年同月比7.7%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産85.0%、輸入15.0%である。前月の生産64.7%、輸入35.3%に比べ生産割合が20.3ポイント増加し、前年同月の生産31.6%、輸入68.4%と比較すると生産割合が53.4ポイント増加している。

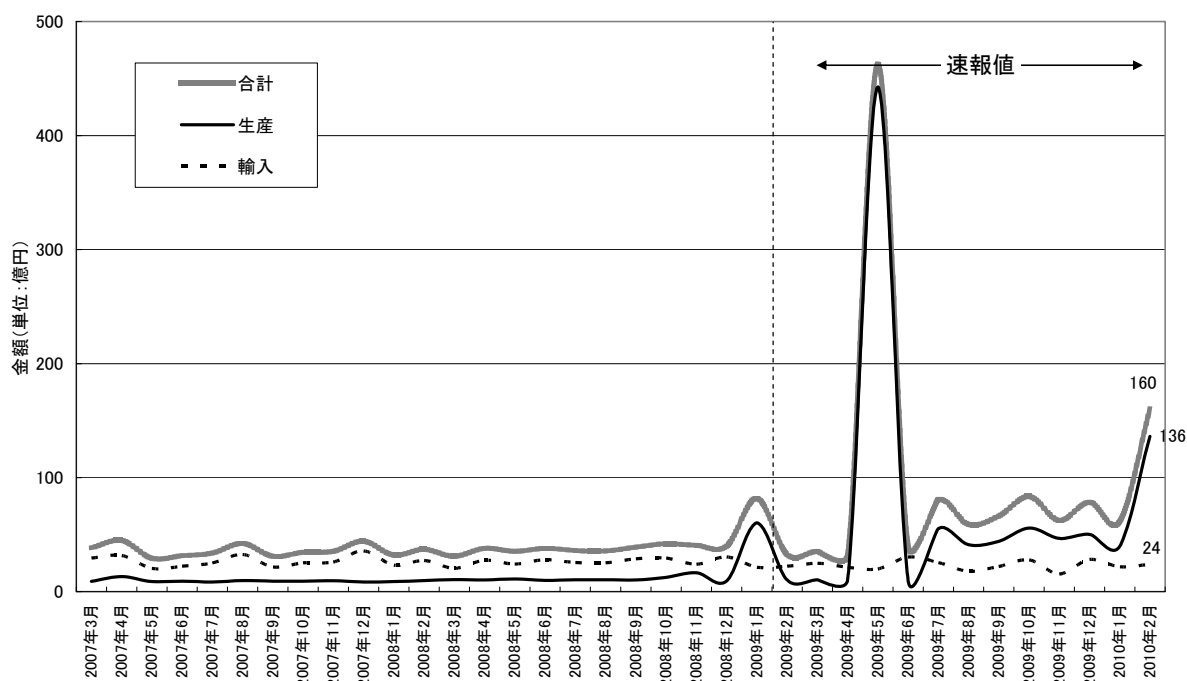


図16 鋼製器具の生産金額、輸入金額

13. 眼科用品及び関連製品

眼科用品及び関連製品における2010年2月の生産金額と輸入金額の合計金額は161億円で、前月比18.5%増、対前年同月比11.1%増であった。

生産金額は39億円で、前月比5.1%増、対前年同月比0.1%減であった。

輸入金額は123億円で、前月比23.4%増、対前年同月比15.1%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産24.0%、輸入79.0%である。前月の生産27.0%、輸入73.0%に比べ生産割合が3.0ポイント減少し、前年同月の生産26.7%、輸入73.3%と比較すると生産割合が2.7ポイント減少している。

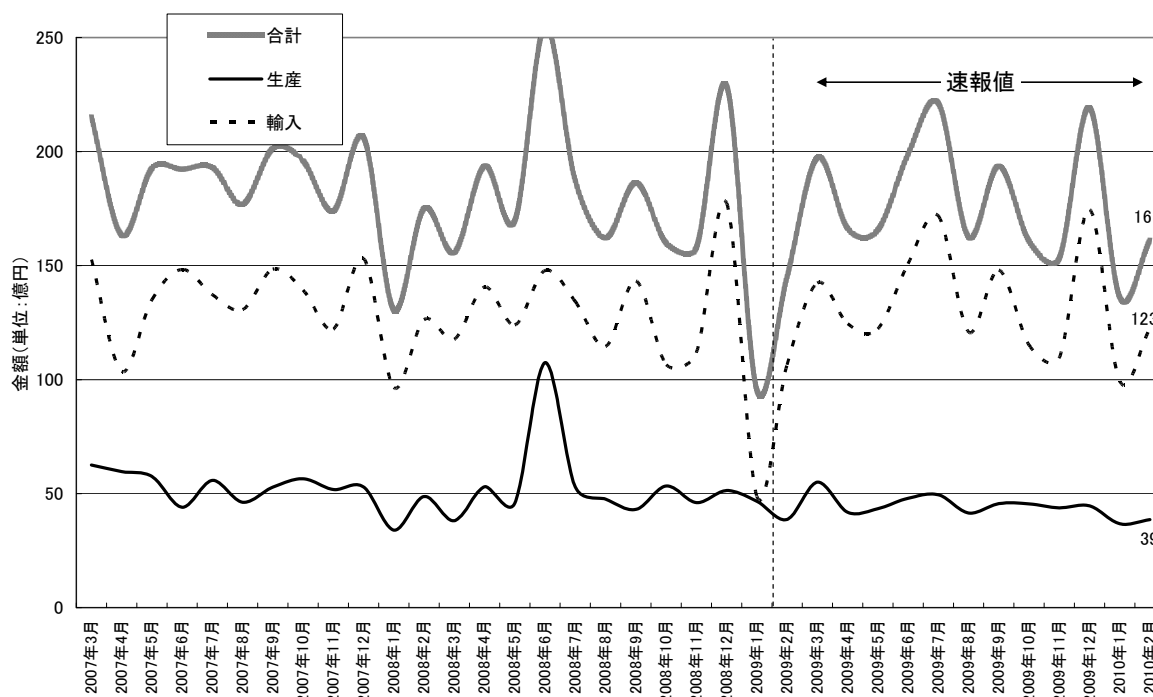


図 17 眼科用品及び関連製品の生産金額、輸入金額

14. 衛生材料及び衛生用品

衛生材料及び衛生用品における2010年2月の生産金額と輸入金額の合計金額は8億円で、前月比0.4%減、対前年同月比42.6%増であった。

生産金額は2億円で、前月比3.1%増、対前年同月比7.7%減であった。

輸入金額は6億円で、前月比1.7%減、対前年同月比82.6%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産28.7%、輸入71.3%である。前月の生産27.8%、輸入72.2%に比べ生産割合が0.9ポイント増加し、前年同月の生産44.4%、輸入55.6%と比較すると生産割合が15.7ポイント減少している。

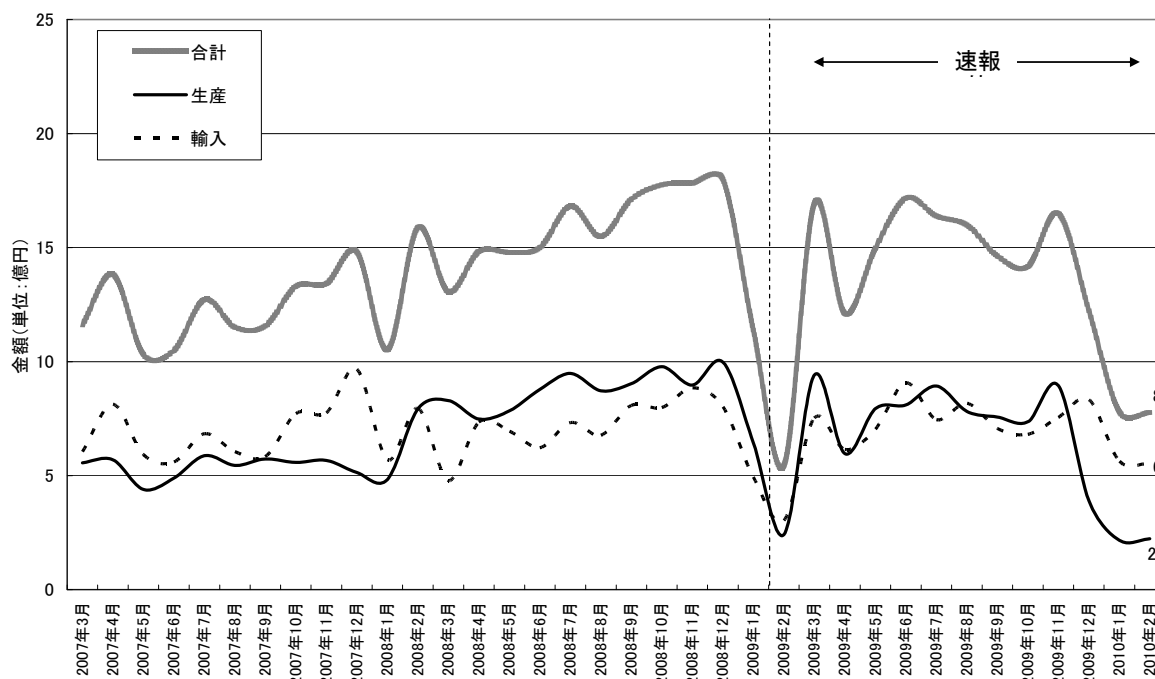


図 18 衛生材料及び衛生用品の生産金額、輸入金額

15. 家庭用医療機器

家庭用医療機器における 2010 年 2 月の生産金額と輸入金額の合計金額は 82 億円で、前月比 9.9%減、対前年同月比 11.6%増であった。

生産金額は 68 億円で、前月比 12.5%減、対前年同月比 12.2%増であった。

輸入金額は 14 億円で、前月比 5.4%増、対前年同月比 8.7%増であった。

生産金額と輸入金額の構成割合は生産 83.0%、輸入 17.0%である。前月の生産 85.4%、輸入 14.6%に比べ生産割合が 2.4ポイント減少し、前年同月の生産 82.5%、輸入 17.5%と比較すると生産割合が 0.5ポイント増加している。

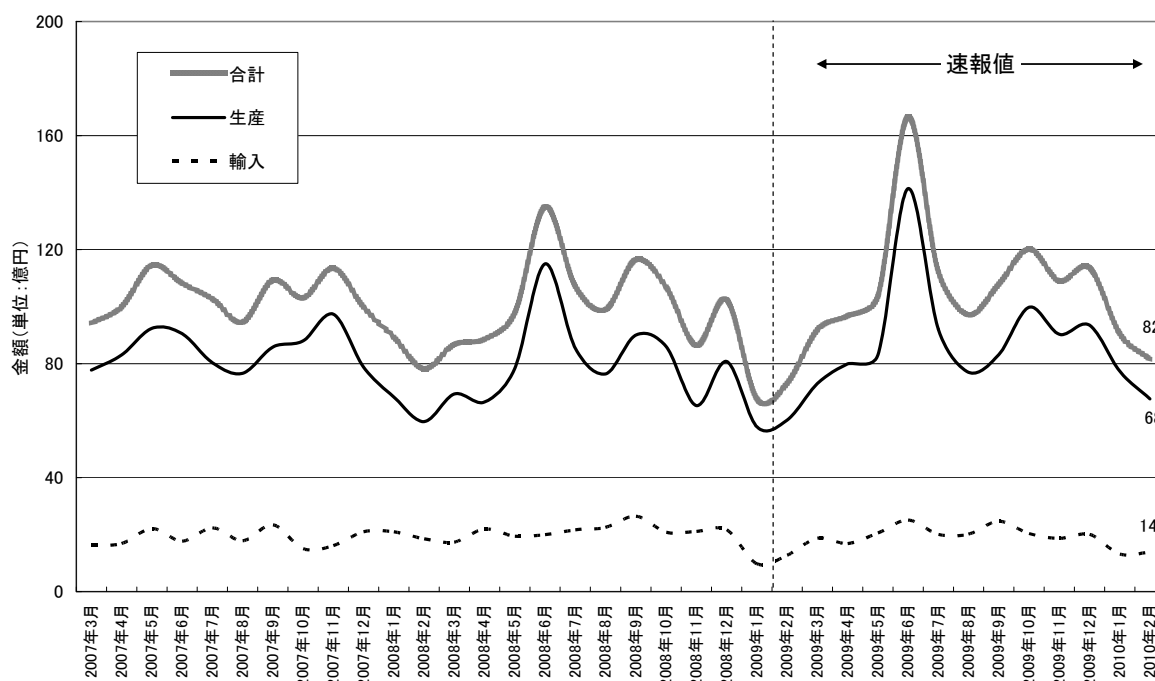


図 19 家庭用医療機器の生産金額、輸入金額

【その他参考図】

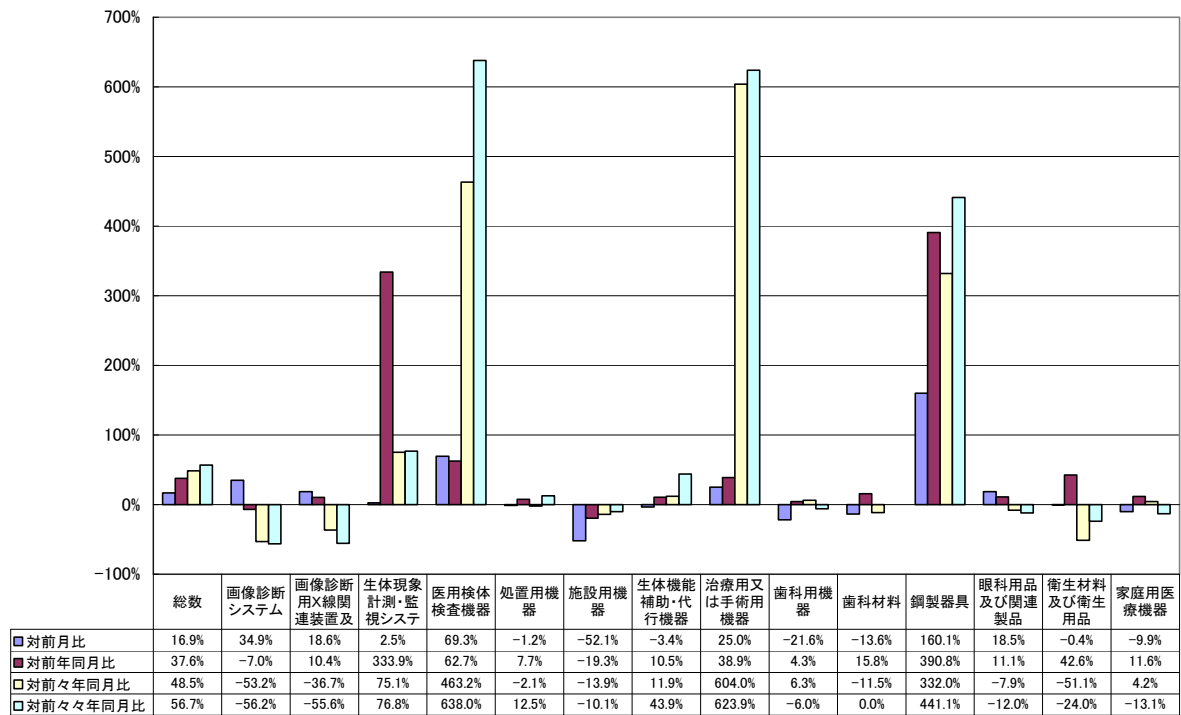


図 20 合計金額の増減比

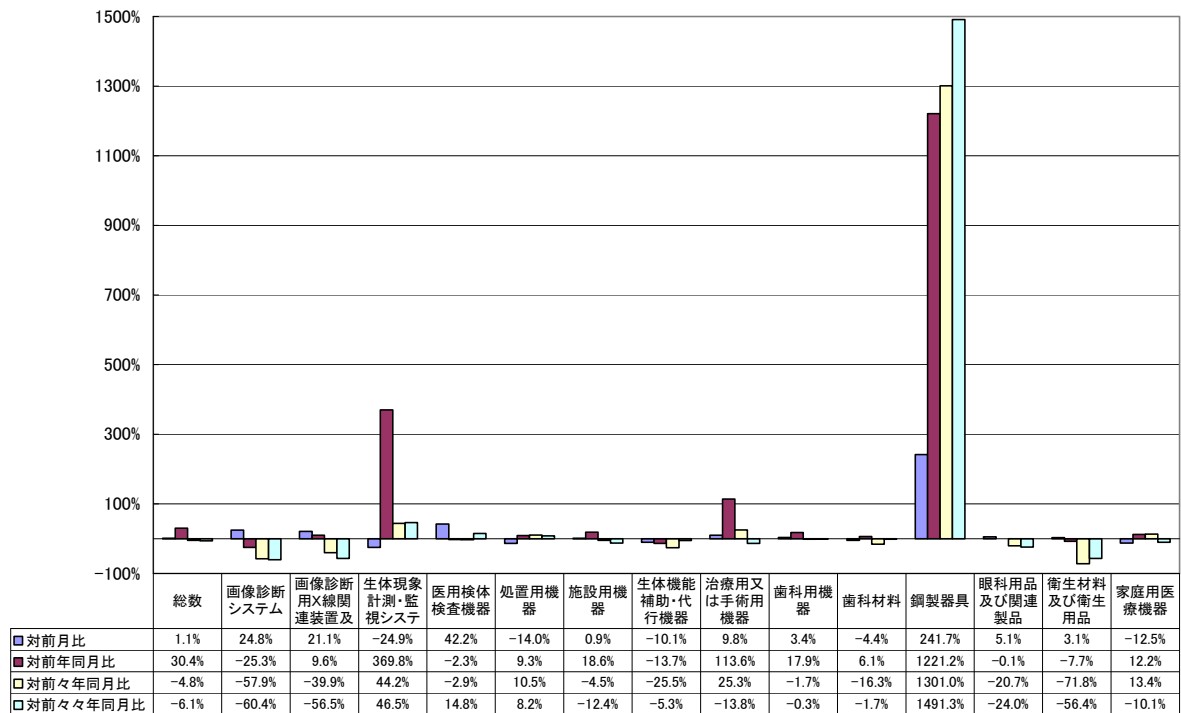


図 21 生産金額の増減比

財団法人医療機器センター附属医療機器産業研究所
MDS I ファクトシート No. 2 (2010年5月)

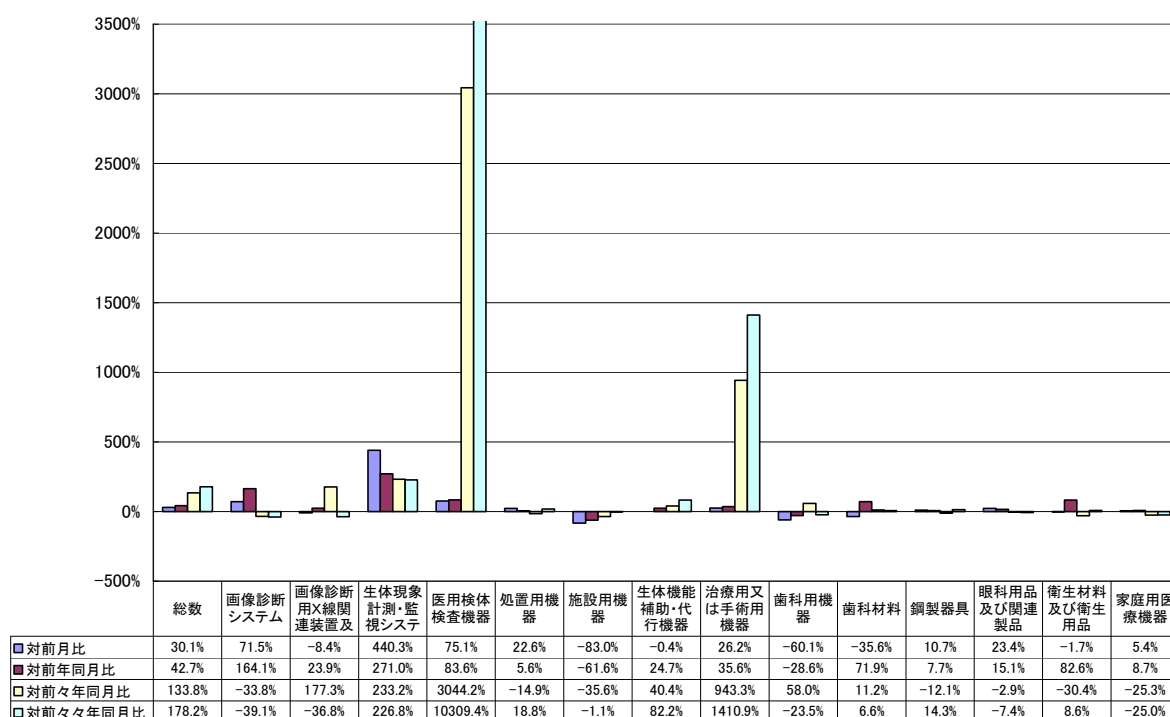


図 22 輸入金額の増減比

本ファクトシートは、研究上の討論のために配布するものである。本ファクトシートを研究上の討論に引用、利用することは妨げないが、引用、利用または参照等したことによって生じたいかなる損害にも著者、財団法人医療機器センター及び医療機器産業研究所のいずれも責任を負いません。

本ファクトシートに記載された意見や考えは著者の個人的なものであり、財団法人医療機器センター及び医療機器産業研究所の公式な見解ではありません。

【内容照会先】

財団法人医療機器センター附属医療機器産業研究所 主任研究員 中野壮陸
電話：03-3813-8553 FAX：03-3813-8733
E-mail：mdsi@jaame.or.jp